

令和元年度行政評価 施策評価シート (平成30年度実績)

施策名 保育の充実

施策コード 030302

1. 施策の担当	
主管課	こども部 子育て支援課
関係課	学校教育課

2. 総合計画における位置づけ			
総合計画	政策	第3章 やさしさとふれあいのあるまちづくり (安心・健康)	節 第3節 児童福祉
	施策	保育の充実	

基本方針

- ・ 保育所、認定こども園は、子育て支援の最も身近で重要な施設であることから、保育サービスや基盤整備を含めた保育環境の充実を図ります。
- ・ 児童の健全育成を図り、保護者が安心して働けるよう、教育委員会や小学校と連携しながら、総合的な放課後児童対策として、留守家庭児童会 (学童保育) を推進します。
- ・ 関係機関との連携のもと、乳幼児の障害の早期発見及び早期療育の充実を図ります。

現況と課題

- ・ 本市における保育サービスの普及率は、他市に比べて高い割合を示しており、地域による偏在はあるものの、市域全体では、近年待機児童数は、ゼロとなっています。また、就労形態の多様化などにより市民からの保育サービスに関する要求も多様化し、更なる拡充が求められています。
- ・ 共働き家庭の増加や子どもを取り巻く環境の変化から、放課後における児童の安全な居場所づくりが求められています。

施策目標

対象 (誰を、何を、どこを)
子どもと子育て家庭

意図 (どのような状態にしたいのか)
保育のサービスの充実や子育て支援の推進により、安心して子どもを産み、育てる環境づくりを進めます。

3. 市民ニーズ							
	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
満足度 (偏差値)	46.8						45.6
重要度 (偏差値)	60.9						61.5

4. 施策にかかるコスト								
	単位	H29決算	H30決算					
コストの内訳	人件費	千円	987,087	990,697				
	事業費		2,615,158	2,701,025				
	フルコスト		3,602,245	3,691,722				
財源内訳	国庫支出金	千円	919,414	983,319				
	府支出金		538,465	531,047				
	市債		0	0				
	その他		185,008	123,896				
	一般財源1 (=フルコスト-特定財源)		1,959,358	2,053,460				
	一般財源2 (=直接事業費-特定財源)		972,271	1,062,763				

5. 施策の成果指標							
① 成果指標1		定員数に対する入所児童数の割合					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
実績値	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
達成度	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
指標設定の根拠			目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景		
定員数に対する入所児童数の割合から待機児童数を把握することができ、保育に欠ける家庭の就労支援と児童の健全育成を図ることができます。			保育に欠ける家庭の就労支援と児童の健全育成を図るため、待機児童数0を目標として設定しています。		平成30年4月1日現在の待機児童数は0を維持しています。		

② 成果指標 2		保育料徴収率（現年分）					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	98.7	99.0	99.3	99.6	100.0		
実績値	98.27	98.17	98.29	97.85	98.34		
達成度	99.56	99.16	98.98	98.24	98.34		

指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
保育料徴収率（現年分）を把握することにより、受益者負担の公平性が保たれ、保育の適切な運営に資することになるため、この指標を設定した。		平成22年度実績をベースとして、最終目標年度の100%達成に向けて、毎年0.3%ずつ徴収率を上げていくことを目標として設定しています。		目標達成に向け、保育料未納者への督促等の強化を図ります。			

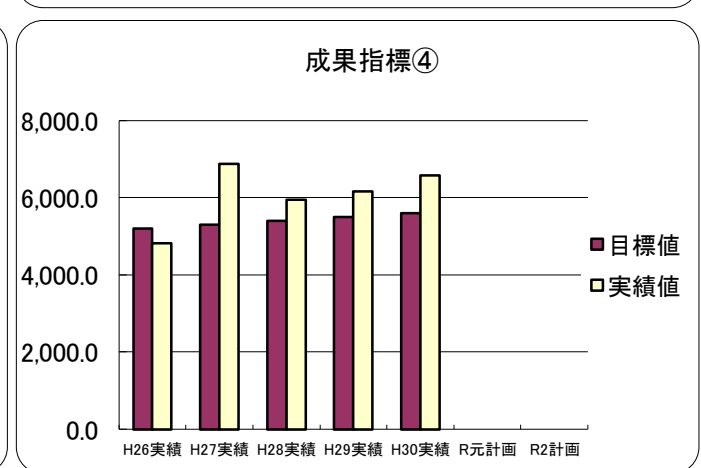
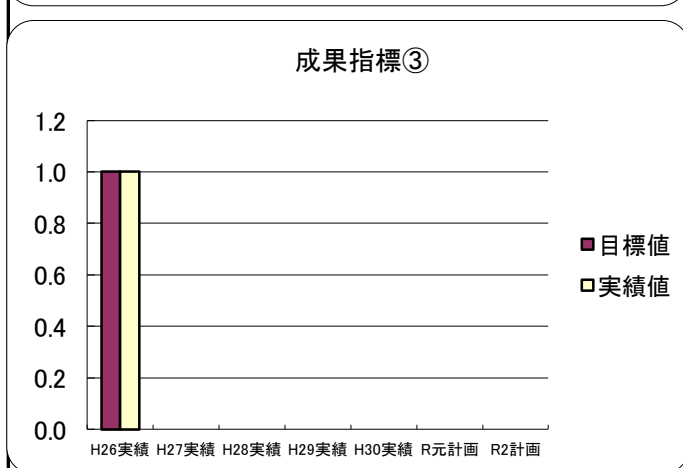
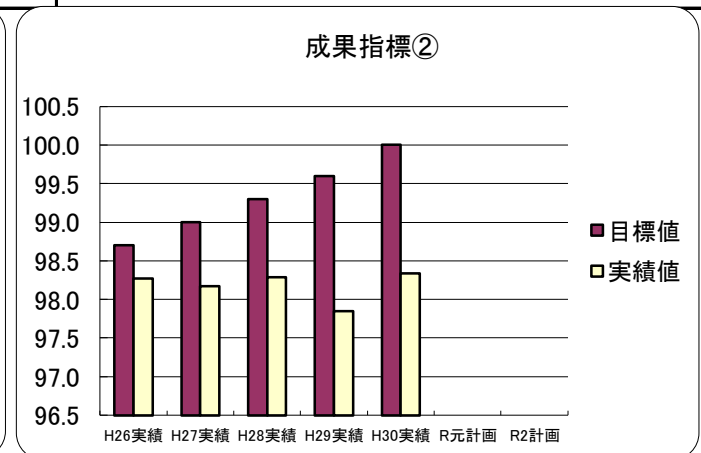
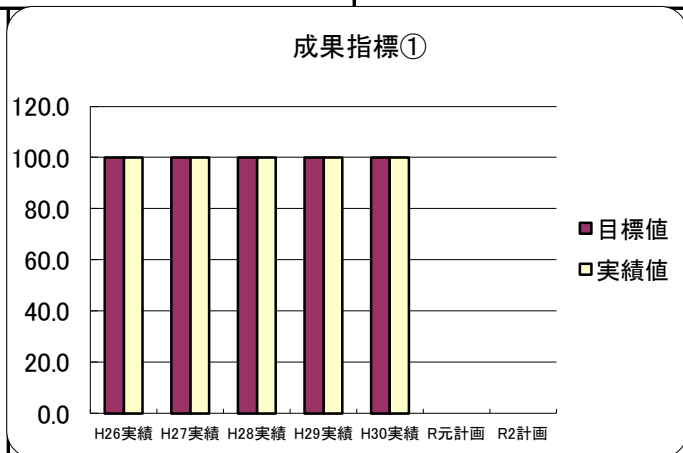
③ 成果指標 3		留守家庭児童会（学童保育）の待機児童数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
実績値	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
達成度	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		

指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
待機児童数0を目指すことにより、放課後における児童の安全な居場所づくり並びに保護者の就労支援を図ることができます。		今後、保護者の就労等により入会希望者が増加していくことが予想される中においても、待機児童数0を目指しています。		待機児童数0を維持するため、必要に応じた施設整備、人員配置を図ります。			

④ 成果指標 4		保育所における地域子育て支援事業（園庭開放・あそびの教室等）利用人数					
項目	H26実績	H27実績	H28実績	H29実績	H30実績	R元計画	R2計画
目標値	5,200.0	5,300.0	5,400.0	5,500.0	5,600.0		
実績値	4,824.0	6,873.0	5,938.0	6,155.0	6,583.0		
達成度	92.77	129.68	109.96	111.91	117.55		

指標設定の根拠		目指そう値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
保育所や幼稚園、認定こども園に通っていない子育て家庭に対する支援事業（園庭開放、あそびの教室、施設開放、0歳児育児教室）を充実していくことにより、子育て支援が進んでいるかの指標となるため。		今後も少子化が進行していくことが予想される中、平成24・25年度の実績を考慮し、利用率を上げ、利用者数が毎年10件増加を目標として設定しています。		利用者が増加しており、目標達成出来ています。			

図表



6. 施策の事後評価			
	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等
一次評価 (担当課による評価)	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) 4	保育所については、平成24年度に鶴原保育所を民営化し、本市こども園構想に基づき平成30年度には、公立認定こども園3園に集約。 地域における子育て支援については、各種支援事業(園庭開放や遊びの教室等)の拡大・充実を図ることにより利用者も増えており、今後も継続して事業実施していきます。
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) 2	認定こども園、保育園については、ここ数年待機児童もなく、定員数については一定のニーズは充足していると考えています。
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) 3	保育所関係では、国において子ども・子育て関連法(子ども・子育て支援法、認定こども園改正法、児童福祉法の改正を含む関係法律の整備法)が成立しています。(平成24年8月)
	合計点	(10点中) 9点	
	総合評価	A	施設整備については、計画どおり進捗しており、また、地域の子育て家庭に対しては、各種支援事業(園庭開放や遊びの教室等)を拡充し、サービスの充実を図っています。
二次評価(政策推進課・行財政管理課による評価)		B	引き続き、待機児童数ゼロを維持し、多様化する保育ニーズに対応する環境整備に努めること。
三次評価(理事者による評価)		B	引き続き、待機児童数ゼロを維持し、多様化する保育ニーズに対応する環境整備に努めること。

7. 施策を構成する事務事業						
	予算コード	事務事業名	H30年度決算額			一次評価
			人件費	事業費	一般財源	
1	01024100	放課後児童対策事業	4,879	144,397	89,218	A
2	01024600	木馬園運営事業	150,047	10,392	-16,606	B
3	01024700	木馬園施設管理事業	2,647	2,606	2,606	B
4	01024900	親子教室運営事業	24,467	565	510	B
5	01025000	親子教室施設管理事業	1,764	3,541	3,541	B
6	01025100	民間保育所対策事業	7,059	2,086,078	864,276	B
7	01081780	障害児通所支援事業	4,412	308,826	77,295	B
8	01083180	こども園運営事業	784,834	103,550	4,951	B
9	01083182	こども園施設管理事業	10,588	41,070	36,972	B
合計			990,697	2,701,025	1,062,763	